第４回　中央委員会

～2014年初めの中央委員会が開催され、2014年春季生活闘争方針、春闘要求書、2013年度第２四半期決算が承認される～

二月二十六日（水）十四時からアークホテル京都に於いて、今年最初となる京交第四回中央委員会が開催された。冒頭、瀬戸執行委員長から「①今年の新たな京交運動について②春闘の状況報告③錦林出張所直営閉所について④自動車新運転計画について⑤京都府知事選について述べられた。続いて報告事項として、三月日程を確認し、自治労関係として府本部執行委員会報告、春闘決起集会の内容ついて等が報告された。次に対局関係に入り自動車、地下鉄についての事業内容やイベント等が報告された。その後、専門部・付帯専門委員について、新体制が確認された。議案事項に入り二〇一四年度春季生活闘争方針、二〇一四年度春闘要求書について審議、確認がされた後、二〇一三年度第２四半期会計決算並びに監査報告が確認された。今後、春闘が山場に差し掛かり、また、自動車では新運転計画が実施される。それぞれの取り組みが成功を治めること祈念し二〇一四年初めの中央委員会を締め括った。

瀬戸執行委員長

各種委員会レジメ

2014.2.12
京交組合本部

第12回　執行委員会

報告事項
1．自治労関係
（1）京都府本部第４回執行委員会について（別紙）
（2）自治労2014春闘ストライキ批准投票の実施について（別紙）
（3）第55期「京都人権文化講座」の案内について（別紙）
2．対局関係
（1）市バスデザインマニュアルの策定と案内表示の一新について（別冊）
（2）「洛バス」の新デザインについて（別冊）
（3）京阪淀駅前広場の仮供用に伴う変更について（別紙）
（4）市バス・地下鉄の利用促進に向けた取り組みについて（別紙）
3．その他
（1）京都交運労協春季研修会の開催について（別紙）
（2）自整支部エンパワメントプラン活動報告について（別紙）
（3）青年女性委員会エンパワメントプラン活動報告について（別紙）

議案事項
1．WindowsXPサポート終了に伴うパソコンの入れ替えについて（別紙）
2．その他

2014.2.25
京交組合本部

第13回　執行委員会

報告事項
1．３月日程について（別紙）
2．自治労関係
（1）京都府本部第５回執行委員会について（別紙）
（2）連合京都2014春季生活闘争勝利総決起集会について（別紙）
（3）連合京都官公部門連絡会・京都公務労協2014春闘決起集会について（別紙）
（4）第36回部落解放連続講座について（別紙）
2．対局関係
（1）自動車部係員登用第一次試験について（別紙）
（2）「コトチカ京都」１周年記念について（別紙）
（3）定期券のクレジットカード購入対応について（別紙）
（4）京都駅デジタルサイネージの設置について（別紙）
3．その他
（1）専門部・付帯専門委員について（別紙）

議案事項
1．2014春季生活闘争方針について（別冊）
2．2014春闘要求書について（別紙）
3．2013年度第２四半期会計決算並びに監査報告について（別冊）
4．京都府知事選挙に係る推薦候補者について（別紙）
5．西賀茂支部エンパワメントプランについて（別紙）
6．梅津支部エンパワメントプランについて（別紙）
7．錦林支部エンパワメントプランについて（別紙）
8．九条支部エンパワメントプランについて（別紙）
9．烏丸支部エンパワメントプランについて（別紙）
10．自整支部エンパワメントプランについて（別紙）
11．その他

2014.2.26
アークホテル京都

第４回　中央委員会

執行委員長挨拶

報告事項
1．３月日程について（別紙）
2．自治労関係
（1）京都府本部第５回執行委員会について（別紙）
（2）連合京都2014春季生活闘争勝利総決起集会について（別紙）
（3）連合京都官公部門連絡会・京都公務労協2014春闘決起集会について（別紙）
（4）第36回部落解放連続講座について（別紙）
3．対局関係
（1）自動車部係員登用第一次試験について（別紙）
（2）「コトチカ京都」１周年記念について（別紙）
（3）定期券のクレジットカード購入対応について（別紙）
（4）京都駅デジタルサイネージの設置について（別紙）
4．その他
（1）専門部・付帯専門委員について（別紙）

議案事項
1．2014春季生活闘争方針について（別冊）
2．2014春闘要求書について（別紙）
3．2013年度第２四半期会計決算並びに監査報告について（別冊）
4．その他

京交目治前

京都交通労働組合
電話(075)841－0948
発行者　瀬戸高志
編集者　梅田　涼

・・一　面・・
・第４回　中央委員会
・各種委員会レジメ
・2014春闘　円山決起集会
・京交主催、年金学習会開催！

・・二　面・・
・京交レクレーション
　日帰りバスツアー
・2014年度地方財政セミナー
・ＦＲＯＭみぶ
・超難問？　ナンプレ
・クロスワード当選者

・・三　面・・
・平成26年度当初予算案の
　概要について

・・四　面・・
・ぶらり「九条営業所」訪問

二〇一四春闘　円山決起集会

働く仲間が結集し、デモ行進を実施!!

三月七日（金）夕刻、連合京都による春闘勝利と京都府知事選挙勝利に向けた決起集会が行われました。今春闘の闘いの焦点は、賃上げと共に非正規労働者への波及であり、働く仲間約二〇〇〇名が結集した円山野外音楽堂では、橋元連合京都会長が「月例賃金引き上げへのこだわり」「非正規労働者の処遇改善」「労働者保護ルール緩和阻止」「知事選での山田啓二さんの必勝」を訴えました。続いて山田啓二知事も登壇し、雇用環境改善と新たな挑戦への決意を述べました。民主党京都府連からは、泉ケンタ会長、前原誠司衆議院議員、山井和則衆議院議員が駆けつけ、代表して泉会長から春闘勝利に向けたエールが送られました。その後、安田連合京都青年女性委員長から集会アピールの提案が行われ全員で確認し、最後に小川連合京都会長代理が団結ガンバロウを三唱しました。集会に続いて京都市役所前までのデモ行進へと移り、シュプレヒコールで春闘勝利にむけて大団結しました。

宣言案を読み上げる安田青年委員長

颯爽とデモ行進をする組合員

京交の旗を掲げ「ガンバロー三唱」

京交主催、年金学習会開催！　被用者年金一元化について学ぶ

場所　アークホテル　日時　平成26年2月26日（水）15時30分開始

平成二十七年一〇月から共済年金が厚生年金に統一されることは、皆さんもご存知のことと思いますが、これまで組合員の皆さんからは、年金制度の仕組みと改正点を分かりやすく学びたいとのご要望が多く寄せられていました。このたび京交として組合員の皆さんの退職後や老後の生活設計の参考にしていただくため、難しくてなかなか理解しにくい年金制度の学習会を開催しました。当日は、京都市行財政局人事部厚生課年金係長の柳田晃之氏を講師に迎え、多くの組合員さんにも参加していただくことができました。この学習会は基礎から学ぶことを目的としているため、改正の趣旨やポイントなど、基本的なことから解説していただきました。

行財政局人事部厚生課年金係長柳田晃之さん

改正の趣旨は、公平な社会保障制度を目指す平成二十四年二月十七日の閣議決定「社会保障・税一体改革大綱」に基づき、公的年金制度の一元化を展望しつつ、少子・高齢化の進展等に備え、制度の安定性を高めるとともに、同一の報酬であれば同一の保険料を負担し、同一の年金給付を受けるという公平性を確保することにより、年金に対する国民の信頼を高めるため、共済年金を厚生年金に統一することとありました。

○厚生年金に公務員及び私学教職員も加入することとし、二階部分の年金は厚生年金に統一する。
○公務員等の保険料率を引き上げ、厚生年金の保険料率（上限18・3％）に統一するとともに、職域部分（三階部分）を廃止し、民間サラリーマン等との同一保険料・同一給付を実現すること。
○遺族年金の転給など、共済年金と厚生年金の制度的な差異については、基本的に厚生年金に揃えて解消すること。

などがあります。

また改正のポイントとしては、

学習会ではこれらのポイントを踏まえつつ、さらに詳しく保険料率の引き上げスケジュールや、職域部分廃止に伴う「年金払い退職給付」の創設など説明していただきました。参加した組合員さんは熱心にメモを取りながら聞いておられ、年金に対する関心の高さをうかがい知ることができました。今回参加できなかった組合員の皆さんも、今後このような学習会があればぜひご参加いただき、参考にしていただきたいと思います。

・・学習会の様子・・

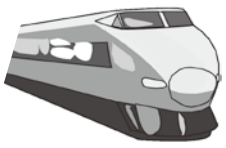
京交レクレーション

日帰りバスツアー「リニア・鉄道館」＆長島アウトレット

昨年に続き二〇一四年二月八日（土）九日（日）の二回に分かれて、愛知県名古屋市の「リニア・鉄道館」と三重県桑名市にある「三井アウトレットパークジャズドリーム長島」に行ってきました。八日については、前日からの大雪で開催が危ぶまれましたが、少し出発を遅らせただけですみ安心しました。「リニア・鉄道館」はJR東海が運営する「夢と思い出」が詰まった場所として、それぞれの時代を駆け抜けた鉄道の勇姿が勢揃いし、模型やシュミレータ等を活用し、子どもから大人まで楽しく学べる空間として、二〇一一年三月十四日のオープン以来、今なお、人気のスポットです。入場すると真っ先に飛び込んでくるのが当時、世界最速を記録した高速鉄道のシンボルである「C62形式蒸気機関車」、「955形式新幹線試験車」、「超電導リニア」で、その迫力を実感することができます。その他にも0系新幹線から300系新幹線をはじめ、全部で三十九両の実物車両が展示され、高速鉄道の歴史を一同に見ることができる、鉄道ファンのみならず全ての人を魅了する夢の空間です。また、鉄道の仕組みや歴史を体験しながら楽しく学習することができる模型や多くの展示物が陳列され、訪れる人を飽きさせない場所として楽しいひとときを過ごしました。次にアウトレットパークではショッピングや食事を堪能し、限られた自由時間ではありましたが各々で楽しんでいただきあっという間に時が経ちました。夕方京都駅に到着する頃は皆さんお疲れのようでしたが、全行程できっちり時間厳守にご協力いただき、怪我やトラブルもなくレクレーションを終えることができました。二日間合計一〇〇人を超える組合員さんと家族の方が参加し、思い出に残る一日になりました。ご参加いただきました組合員の皆様、ご家族の皆様、お手伝いいただきました役員の皆様ありがとうございました。今後も皆様に喜んでいただけるレクレーションを企画していきますので、ご参加お待ちしております。

― 電車の運転士さん ―

～車掌さん～



～お買い物だ～

～社保さん大活躍！～

✌ハイチーズ✌

・・・２月９日全員でハイチーズ（１号車）・・・

・・・２月９日全員でハイチーズ（２号車）・・・

・・・２月８日全員でハイチーズ・・・

二〇一四年度地方財政セミナー
二〇一四年二月十三日（木）キャンパスプラザ京都

「二〇一四年度地方財政の動向」　只友景士（龍谷大学政策学部教授）
「京都交通労組、財政健全化への取組」　梅田　涼（京交常任執行委員）

自治労京都府本部・京都地方自治総合研究所による地方財政セミナーが開催されました。今回は、二〇一四年度の地方財政の動向と、財政健全化の中で京交が取り組んできたことをテーマに講演が行われました。

「二〇一四年度地方財政の動向」では、政府予算と地方財政の関係、国による地方財政計画が地方自治体に与える影響などが詳しく解説されました。その中で、地域間の税源の偏在を是正し、財政力格差の縮小を図るため、地方法人税の交付税原資化について説明がありました。地方法人税の創設については、東京都などの不交付団体から「地方分権の流れに反する」と反発も出ているが、今後自治体間の税収格差が更に拡大すると懸念される中では必要な措置であると語られました。

次に財政健全化への京交の取り組みについて、梅田自動車副部長が講演を行いました。京都市交通局では自動車・地下鉄事業ともに経営健全化計画を策定し、取り組んできた結果、両事業とも計画を上回るペースで改善しており、特に自動車事業においては「黒字体質」への転換を果たし、補助金に頼らない自立した経営に向けて後一歩のところまで来ています。その過程で労働組合として取り組んだこと、京都の市バス・地下鉄を公営で守るために当局と組合が同じ目標を持って前進してきたことやエンパワメント活動などの取り組みについて説明がありました。

セミナー参加者は様々な自治体や公営企業で働く組合員の方々であり、どこも厳しい財政状況であることに変わりはありません。そのような中で結果を出してきた京都市交通局、京交の取り組みについては、皆さん大変興味深い様子で耳を傾けていました。私たち京交としてもこのようなセミナーを通じて他団体と情報を共有しあい今後の取り組みの参考にしていきたいと思います。

報告を行う
梅田自動車副部長

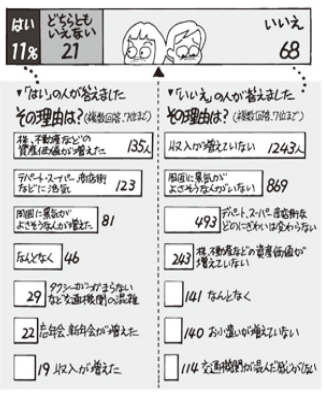
From みぶ

景気が良くなった？　そんな実感ありません

世間では「株価が上がった」「高額商品が売れている」などと言われているが、われわれ庶民には景気が良くなった実感がない。朝日新聞のモニター調査の結果でも「景気が良くなった実感あり」はわずか十一％だった。

景気が良くなっていないと答えた人の一番の理由は「収入が増えていない」。そのうえ四月からの消費税アップ。これではむしろ景気が下がっていくのでは…。

富裕層のみの好景気では先が思いやられる。



脳に刺激を！　超難問？　ナンプレ

「ナンプレ」のコーナーです。ちょっと一息！頭のリフレッシュしてみませんか？下記のマスを全部埋めてください。正解者の中から抽選で三人の方に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。どしどし応募してください。

このナンプレが解けた方は、支部名、コード番号、名前、機関紙に対するご意見ご要望等を記入の上、京交本部教宣部機関紙編集チームまでお送りください。

締め切りは四月十四日（月）必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京交」で！

	2				3			
7				5		4		
9				7		1		
2					1			
	6						9	
			2					8
		4		3				7
		6		8				1
			4				3	

クロスワードパズル　京交669号解答

ハ	ン	デ	イ	ク	ラ	フ	ト	キ
ー	■	パ	ン	ツ	■	シ	■	■
ラ	リ	ー	■	キ	ア	ン	■	■
ー	■	ト	レ	ー	ド	■	カ	■
ダ	ム	■	ガ	■	ウ	ス	ギ	■
ー	■	ウ	ツ	ボ	■	ペ	■	■
ビ	ン	ガ	タ	■	カ	ー	ド	■
ー	■	イ	■	ダ	イ	ド	ク	■

■答えは「ライノハウス」

当選者氏名（敬称略）
平田忠司（電整支部）
飯室　充（駅務支部）

・・・平成26年度当初予算案の概要について・・・

自動車運送事業

経常収入	２１０億３９百万円
経常支出	１９６億円
経常損益	１４億３９百万円
△累積欠損金	△８億１４百万円
△累積資金不足	△６億２５百万円

＜主な業務の予定量等＞

在籍車両数	７８８両（７６４両）
走行キロ数〔１日平均〕	８４．０千ｋｍ（８１．４千ｋｍ）
旅客数〔１日平均〕	３２８千人（３２０千人）

注　（　）内は，平成25年度の数値である。

（1）予算の概要

平成26年度予算は，35年ぶりとなる大幅な車両の増車と走行キロの拡大により，路線・ダイヤの更なる充実を図り，お客様の利便性を飛躍的に向上させる，新たな運転計画の実施をはじめ，中期経営方針に掲げる取組を着実に推進し，積極的な「攻めの経営」への新たなスタートを切るとともに，累積資金不足の解消による自立した経営の実現に向け，より一層前進する予算編成とした。

経常損益は，一日当たり旅客数を32万８千人と，前年度予算に比べ８千人の増加を見込み，事業規模の拡大に伴う燃料費等の経費の増加を見込んだうえで，14億39百万円の黒字となる見込みである。

また，累積資金不足は，過去最大の約144億円（平成17年度）から９割以上減少し，６億25百万円となるものと見込んでいる。

なお，平成26年度予算から，民間企業等との比較を容易にし，経営状況を的確に把握できるようにすることを目的に，減価償却方法の変更や退職給付引当金の計上義務化など，公営企業会計制度の改正が実施されるため，これに伴う変更を反映した予算とした。

（2）予算の重点

ア　お客様増加策

（ア）便利で分かりやすい市バス路線・ダイヤの編成と発信

【26年３月実施の新運転計画】

①輸送力の増強

・「洛バス」101号系統や市内中心部の循環系統・幹線系統など，主要系統の増便

・直行系統・急行系統の新設（「四条河原町ショッピングライナー」及び「岡崎・東山・梅小路エクスプレス」），丸太町通・大手筋通における等間隔運行の開始など

②地下鉄をはじめとする鉄道との結節強化

③夜間ダイヤの増強「おかえり交通充実大作戦」の展開

・京都駅，桂駅を24時に発車する「深夜バス」の試行運行開始

・夜間時間帯の増便，最終バスの時刻繰下げ

④地域主体のモビリティ・マネジメントと一体となった路線・ダイヤの拡充

⑤利便性向上と分かりやすさ向上への取組

【新たなデザインによる分かりやすい案内表示】

①主要幹線道路に「ラインカラー」を設定し，バス車両（行先き表示・車内路線図等）や停留所の各種案内サインに表示するなど，デザインの一新

②京都駅前バスのりばにおける案内サインの一新，発車予定時刻等を表示する総合案内板やバス案内表示器の設置など，のりば全体の旅客案内機能の充実

（イ）バス待ち環境の向上

・KYOTO_WiFiを活用した新たな手法によるバス接近表示器の整備（60基）今後３箇年で200箇所整備し，設置可能なバス停約500箇所への整備を完了

・地域，民間の協力による新たなバス待ち空間「バスの駅」の設置（５箇所程度）

・広告付きバス停上屋，ベンチの整備の推進

イ　お客様接遇向上・安全対策

（ア）接遇向上・安全対策に向けた，キャリア別の運転士研修の導入と実施回数の増

（イ）新たに全運転士に対する事故防止重点研修を実施

（ウ）事故防止重点強化策（違法駐停車への啓発による走行環境の改善）

ウ　お客様サービスの向上等

（ア）市バスＩＣカードシステムの導入と普及促進

（イ）嵯峨・嵐山地域における均一運賃区間の拡大（26年３月実施）

（ウ）営業所における太陽光発電を利用した非常用電源設備の導入（九条，梅津，西賀茂）

エ　コスト削減策

（ア）総人件費の抑制

（イ）バス車両の状態を徹底的に点検精査し，更新車両数を抑制

（ウ）経常経費を20年度予算比5.9％削減（目標の５％削減を継続）

（3）財政状況（前年度予算からの増減及び会計制度改正の影響）　（税込）

項目＼年度	平成２５年度（A）		平成２６年度改正前（B）		差引増△減（B－A）		平成２６年度改正後（C）		改正影響額（C－B）	
	億	百万円	億	百万円	億	百万円	億	百万円	億	百万円
経常損益 営業収益	195	87	202	08	6	21	202	08		－
運送収益	185	42	192	12	6	70	192	12		－
その他	10	45	9	96	△	49	9	96		－
営業外収益	6	90	6	33	△	57	8	31	1	98
一般会計補助金	6	73	6	16	△	57	6	16		－
① 長期前受金戻入額							1	98	1	98
収入計	202	77	208	41	5	64	210	39	1	98
営業費用	181	95	190	49	8	54	190	06	△	43
経常人件費	69	10	68	15	△	95	68	15		－
② 退職手当	5	06	4	52	△	54		－	△ 4	52
退職給付引当金繰入額							2	21	2	21
③ 経費	98	56	105	85	7	29	105	79	△	6
① 減価償却費等	9	23	11	97	2	74	13	91	1	94
営業外費用	5	12	5	94		82	5	94		－
支出計	187	07	196	43	9	36	196	00	△	43
差引	15	70	11	98	△ 3	72	14	39	2	41
④ 特別損益		－		－		－	△ 40	32	△ 40	32
再差引（純損益）	15	70	11	98	△ 3	72	△ 25	93	△ 37	91
⑤その他未処分利益剰余金変動額							8	25	8	25
利益剰余金（△累積欠損金）	△ 2	23	21	53	23	76	△ 8	14	△ 29	67
資本的収支 企業債	15	24	25	93	10	69	25	93		－
補助金	2	14	4	74	2	60	4	74		－
収入計	17	38	30	67	13	29	30	67		－
③ 建設改良費	19	53	33	51	13	98	33	57		6
企業債償還金	11	27	9	40	△ 1	87	9	40		－
長期借入金返還金	2	00	2	00		－	2	00		－
支出計	32	80	44	91	12	11	44	97		6
差引	△ 15	42	△ 14	24	1	18	△ 14	30	△	6
累積資金不足	△ 29	49	△ 6	25	23	24	△ 6	25		－
資金不足比率	15.6	%	3.2	%	△12.4	ﾎﾟｲﾝﾄ	3.2	%		－
企業債残高	54	07	70	60	16	53	70	60		－

【会計制度改正の影響】

経常損益への影響：＋241百万円

①　補助金等を財源に取得した資産について、当該補助金等を差し引いた金額で減価償却を行う「みなし償却制度」が廃止され、取得価格総額で償却するため、減価償却費が増加（＋188百万円）する一方、補助金等は、本年度の償却に合わせて「長期前受金戻入額」として収入（＋198百万円）に計上

②　引当金制度の導入に伴い、退職手当については、当年度に実際に支給する額（△452百万円）に代わり、当年度に引き当てておくべき金額（221百万円）を「退職給付引当金繰入額」として計上

③　リース会計制度の導入に伴い、経費として支出していたリース料（△６百万円）は、資本的支出「建設改良費」（＋６百万円）に計上。また、通常の固定資産と同様に減価償却費（＋６百万円）を計上

特別損益への影響：△4,032百万円

④　退職給付引当金について、制度改正前の25年度末に引き当てておくべき金額（△3,580百万円）を、特別損失として一括計上。また、同様に賞与についても（△452百万円）計上

累積欠損金への影響：＋825百万円

⑤　補助金等を財源に取得した資産のうち、既に減価償却が済んでいる部分について、移行処理として、当該補助金等（＋825百万円）を一括で利益として処理するため、その分累積欠損金が減少

※　累積資金不足及び資金不足比率への影響はなし

高速鉄道事業

経常収入	３３４億５２百万円
経常支出	３５９億　１百万円
経常損益	△２４億４９百万円
現金収支	５６億６７百万円
△累積欠損金	△３,１３５億３０百万円
△累積資金不足	△３０９億１８百万円

＜主な業務の予定量等＞

在籍車両数	２２２両［37編成］（２２２両［37編成］）
走行キロ数〔１日平均〕	５６．９千ｋｍ（５６．９千ｋｍ）
旅客数〔１日平均〕	３４９千人（３４２千人）

注　（　）内は，平成25年度の数値である。

（1）予算の概要

平成26年度予算は，「市バス・地下鉄中期経営方針」に掲げる，安全対策，お客様　サービスの向上，増収増客の取組，コスト削減策を確実に実行するとともに，計画の進　ちょく状況を踏まえた一般会計からの必要な支援を確保し，経営健全化計画を着実に前　進させる予算編成とした。

経常損益は，一日当たり旅客数を34万９千人と，前年度予算に比べ７千人の増加を見込んでいることや，駅ナカビジネスの積極的展開による増収等により，前年度予算から17億18百万円改善すること，また，公営企業会計制度の改正に伴って20億１百万円改善することにより，合わせて37億19百万円改善し，24億49百万円まで赤字が縮小する見込みである。現金収支は，56億67百万円の黒字となり，前年度予算から２億86百万円黒字が拡大するものと見込んでいる。

また，累積資金不足は，前年度並みの309億18百万円となる見込みである。

なお，平成26年度予算から，民間企業等との比較を容易にし，経営状況を的確に把握できるようにすることを目的に，減価償却方法の変更や退職給付引当金の計上義務化など，公営企業会計制度の改正が実施されるため，これに伴う変更を反映した予算とした。

（2）予算の重点

ア　お客様増加策

（ア）「京都市地下鉄５万人増客推進本部」の体制の下，沿線施設との連携，イベントの開催等による全庁を挙げた取組の更なる推進

（イ）沿線地域への地下鉄便利情報のポスティングや，区役所・支所等との連携による駅を拠点とした増客の取組

（ウ）大学，企業と連携した駅ナカアートプロジェクト事業の充実，地下鉄応援キャラクターを活用したＰＲ活動など

イ　駅ナカビジネスの積極的展開

（ア）新たな商業スペース「コトチカ山科」，丸太町駅の店舗設置工事の実施

（イ）「コトチカ御池」の拡充及び今出川駅の店舗展開に向けた実施設計

ウ　お客様サービスの向上

（ア）利用者に分かりやすい案内サインの整備

・駅地上出入口の地下鉄案内サインの刷新（26，27年度）

・駅構内案内サインを統一した表示に全面更新（26年度整備着手）

・駅ホームのエレベーター等案内表示の増設

（イ）北大路駅，今出川駅トイレのリニューアル（26，27年度）

（ウ）全ての駅トイレのオーバーホールの実施

（エ）駅にインターネット無料接続拠点（WiFiスポット）を設置（26年度整備完了）

エ　安全対策

（ア）烏丸線への可動式ホーム柵設置

26年度烏丸御池駅供用開始，27年度四条駅，京都駅供用開始

（イ）今出川駅ホームへの車掌用モニタ設置

（ウ）駅改札口への防犯カメラの増設（26，27年度）

オ　コスト削減

（ア）総人件費の抑制

（イ）経常経費を20年度予算比13.3％削減（目標の13％削減を継続）

カ　一般会計からの支援

（ア）地下鉄駅賑わい創出事業への出資金

（イ）国制度に基づく経営健全化対策出資金の確保

（ウ）高資本費対策補助金（任意補助）の計上見送り

（3）財政状況（前年度予算からの増減及び会計制度改正の影響）　（税込）

項目＼年度	平成２５年度（A）		平成２６年度改正前（B）		差引増△減（B)−(A)		平成２６年度改正後（C）		改正影響額（C)−(B)	
	億	百万円	億	百万円	億	百万円	億	百万円	億	百万円
経常損益 営業収益	259	26	269	92	10	66	269	92		－
運輸収益	237	16	247	04	9	88	247	04		－
その他	22	10	22	88		78	22	88		－
営業外収益	31	93	26	23	△ 5	70	64	60	38	37
一般会計補助金	31	47	25	79	△ 5	68	25	79		－
①長期前受金戻入額							38	37	38	37
収入計	291	19	296	15	4	96	334	52	38	37
営業費用	250	90	241	52	△ 9	38	259	88	18	36
経常人件費	51	67	51	41	△	26	51	41		－
②退職手当	5	10	4	76	△	34			△ 4	76
退職給付引当金繰入額							1	64	1	64
③経費	77	50	81	65	4	15	81	63	△	2
①減価償却費等	116	63	103	70	△ 12	93	125	20	21	50
営業外費用	101	97	99	13	△ 2	84	99	13		－
支出計	352	87	340	65	△ 12	22	359	01	18	36
差引	△ 61	68	△ 44	50	17	18	△ 24	49	20	01
現金収支	53	81	56	65	2	84	56	67		2
④ 特別損益		－		－		－	△ 37	62	△ 37	62
再差引（純損益）	△ 61	68	△ 44	50	17	18	△ 62	11	△ 17	61
⑤その他未処分利益剰余金変動額							406	00	406	00
△累積欠損金	△ 3,474	15	△ 3,523	69	△ 49	54	△ 3,135	30	388	39
資本的収支 企業債	105	84	147	77	41	93	147	77		－
補助金	12	25	11	81	△	44	11	81		－
出資金	111	31	107	56	△ 3	75	107	56		－
その他		31		18	△	13		18		－
収入計	229	71	267	32	37	61	267	32		－
③建設改良費	72	92	91	33	18	41	91	35		2
企業債償還金	205	44	216	78	11	34	216	78		－
長期借入金返還金	27	54	24	94	△ 2	60	24	94		－
その他		51		－	△	51		－		－
支出計	306	41	333	05	26	64	333	07		2
差引	△ 76	70	△ 65	73	10	97	△ 65	75	△	2
△累積資金不足	△ 309	16	△ 309	18	△	2	△ 309	18		－
資金不足比率	55.4	%	47.8	%	△7.6	ﾎﾟｲﾝﾄ	47.8	%		－
企業債等残高	4,220	04	4,088	40	△ 131	64	4,088	40		－

【会計制度改正の影響】

経常損益への影響：＋2,001百万円

①　補助金等を財源に取得した資産について、当該補助金等を差し引いた金額で減価償却を行う「みなし償却制度」が廃止され、取得価格総額で償却するため、減価償却費等が増加（＋2,149百万円）する一方、補助金等は、本年度の償却に合わせて「長期前受金戻入額」として収入（＋3,837百万円）に計上

②　引当金制度の導入に伴い、退職手当については、当年度に実際に支給する額（△476百万円）に代わり、当年度に引き当てておくべき金額（164百万円）を「退職給付引当金繰入額」として支出に計上

③　リース会計制度の導入に伴い、経費として支出していたリース料（△２百万円）は、資本的支出「建設改良費」（＋２百万円）に計上。また、通常の固定資産と同様に減価償却費（＋１百万円）を計上

特別損益への影響：△3,762百万円

④　退職給付引当金について、制度改正前の25年度末に引き当てておくべき金額（△3,418百万円）を、特別損失として一括計上。また、同様に賞与についても（△344百万円）計上

累積欠損金への影響：＋40,600百万円

⑤　補助金等を財源に取得した資産のうち、既に減価償却が済んでいる部分について、移行処理として当該補助金等（＋40,600百万円）を一括で利益として処理するため、その分累積欠損金が減少

※　累積資金不足及び資金不足比率への影響はなし

（参考）企業債等残高の内訳

項目＼年度	２５年度末未償還残高		年度内増△減 発行額		償還額		差引		２６年度末未償還残高	
	億	百万円	億	百万円	億	百万円	億	百万円	億	百万円
建設企業債	1,929	76	36	02	172	17	△136	15	1,793	61
出資債		32		－		－		－		32
特例債	117	69	31	44	17	25	14	19	131	88
資本費平準化債	624	28	80	31		28	80	03	704	31
資本費負担緩和分企業債	814	05	6	11	27	08	△20	97	793	08
小計	3,486	10	153	88	216	78	△62	90	3,423	20
鉄道・運輸機構借入金	340	30		－	43	80	△43	80	296	50
長期借入金	393	64		－	24	94	△24	94	368	70
合計	4,220	04	153	88	285	52	△131	64	4,088	40

ぶらり「九条営業所」訪問

平成二十六年二月十日（月）九回目となりました「ぶらり職場訪問」に市バス九条営業に行ってきました。

九条営業所は京都駅の南に構えており、バス営業所の中で最も乗務員、車両数が多く、循環系統の二〇二号、二〇五号、二〇七号、二〇八号の四系統を担当しています。市電時代から続く営業所で建物は昭和からの名残が多くあるのが特徴でコンクリート造りの二階建です。今年度、建て替え工事が行われる予定で建て替え前の記念になる取材となりました。まずは、建物一階にある事務所に入り挨拶を済ませ、九条支部の和田支部長にナビゲーターをお願いし取材に入りました。事務所の仕事風景、出勤された運転士さんの点呼の様子、乗務鞄置きや発券機、金庫置き場の配置を取材しました。次にバスの運行を操車し、営業所前で乗務員交代を指示している部屋に行き操車の様子を取材しました。九条営業は担当系統全てが循環系統で繁忙期はバスが遅れるので操車が大変だと聞きました。そして、休憩室を取材し、食堂にいきました。九条営業所は唯一調理をされる方が居られますが、今度の建て変えの際に閉鎖されるそうです。次に浴室、乗務員さんの更衣室を取材し建物一階部分の取材を終え、二階に上がりました。

二階には畳造りの仮眠室があり、他には会議室がありました。また、階段横から行ける二〇坪程のベランダスペースがあり、そこから九条営業所に留置されているバスや周辺の景色が見渡せ、乗務員さんがリラックスできる場となっていました。その後、再び一階の事務所に戻り、水本所長、柴田副所長をインタビューし午前中の取材を終えました。昼食には九条営業から南に徒歩一〇分にある「岡本食堂」にいきました。お店は一見、食堂と分からず通り過ぎてしまいそうなシンプルな店構えで、暖簾をくぐると昭和を感じさせるレトロな雰囲気。お店のシステムはおかずの種類をお皿の大きさで選択し、お店奥にあるカウターに並べられた料理を選ぶセミセルフスタイルとなっていました。早速、大皿を注文し焼き魚プラス三品を選びご飯、味噌汁を注文しました。味は家庭的で優しい味。焼き物、揚げ物、お惣菜や麺類などもあり、ボリュームたっぷり、お値段もリーズナブル。大変満足しました。是非、お近くに来られた際はお立ちより下さい。

～九条営業所外観～

～九条営業所看板～

二階からバスを眺めると

～休憩室の様子～

市電時代からある電柱

～点呼をされる様子～

九条営業所概要

所　在　地　京都市南区東九条下殿田町70番地
電　話　075－691－0057
（内線 5668）
ＦＡＸ　075－661－8004
敷地面積　18,687.41 ㎡
建物面積　ア　事務所棟（鉄筋コンクリート２階建）　延べ　1,136.9 ㎡
イ　整備棟（鉄筋コンクリート２階建）　延べ　1,154.3 ㎡
合　計　延べ　2,191.2 ㎡
営業所開設日　昭和52年10月１日
収容届出台数　220 両（委託台数含む）
在籍車両数　107 両（委託台数除く）
職　員　数　230 名
操　車　場　九条操車場
所在地：京都市南区下殿田町70番地
（九条営業所内）
担当系統　202号系統，快202号系統，205号系統
快205号系統，207号系統，208号系統

所長・副所長インタビュー

①氏名　②生年月日　③入局年度　④家族構成　⑤趣味　⑥前職　⑦交通局に入局していなかったら　⑧今後、望むことは？

所　長

水本誠二所長

①水本誠二
②昭和33年８月14日
③昭和54年６月１日（交通局に転任は平成14年４月１日）
④妻、子供３人
⑤ゴルフ、バドミントン
⑥環境局から転任
⑦寿司屋
⑧甲乙お互いに力を合わせて、接遇日本一を目指して行きたい。

副所長

柴田礼輔副所長

①柴田礼輔
②昭和41年11月３日
③平成５年
④妻
⑤映画鑑賞、ドライブ
⑥レンタカー会社
⑦前職と同じ
⑧民間ではできない大規模なインフラ整備による利便性向上。

組合員インタビュー

名和崇忍さん

①名和崇忍さん
②昭和57年６月７日
③平成24年２月
④妻
⑤運動・ランニング・買い物
⑥観光バス運転士
⑦バス運転士
⑧若手職員に未来ある組織に！

濵田大地さん

①濵田大地さん
②昭和55年４月11日
③平成19年５月
④独身
⑤釣り・野球
⑥自販機修理
⑦バス運転士
⑧全て直営で！

大橋　岳さん

①大橋　岳さん
②昭和53年４月20日
③平成20年２月
④妻・息子２人
⑤ドライブ
⑥バス運転士
⑦大型ドライバー
⑧これからも直営で、みんなが働きやすい職場環境をお願いします。

近くのおすすめグルメ

～岡本食堂～

九条営業から南に徒歩10分にある「岡本食堂」にいきました。お店は一見、食堂と分からず通り過ぎてしまいそうなシンプルな店構えで、暖簾をくぐると昭和を感じさせるレトロな雰囲気。お店のシステムはおかずの種類をお皿の大きさで選択し、お店奥にあるカウターに並べられた料理を選ぶセミセルフスタイルとなっていました。早速、大皿を注文し、焼き魚にプラス三品を選びご飯、味噌汁を注文しました。味は家庭的で優しい味。焼き物、揚げ物、お惣菜や麺類などもあり、ボリュームたっぷり、お値段もリーズナブル。大変満足しました。是非、お近くに来られた際はお立ちより下さい。

親族で営業

焼き魚定食

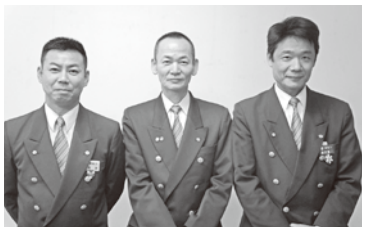
支部三役

①氏名　②生年月日　③入局年度　④家族構成　⑤趣味　⑥前職　⑦交通局に入局していなかったら　⑧今後、望むことは？

①和田清貴支部長
②昭和 30 年４月 19 日
③昭和 62 年１月 16 日
④妻、息子夫婦と孫二人
⑤スーパー銭湯巡り
⑥コンクリートの試験技師
⑦実家の商売（土産屋）
⑧未来永劫公営交通で運営

①橋本充副支部長
②昭和 47 年２月２日
③平成 15 年
④妻，子ども３人
⑤釣り、料理
⑥運転手
⑦主婦

①板谷篤二書記長
②昭和 43 年 12 月 29 日
③平成５年
④妻，子ども４人
⑤釣り、車
⑥重機オペレーター
⑦お笑い芸人



～207号系統乗車体験記～

九条営業所の取材では、207号の甲周りに乗車しました。ちなみに、循環系統の甲乙は東西で区別されているのではなく、営業所からの出発を左右で決めているそうです、九条営業所を出発して、東福寺から東山通を北上し祇園へ向かいました。途中の五条坂や清水道では外国からのお客様も多く、観光客の方々で車内は少し混み合っていました。四条通を大宮まで進み、島原口、京都水族館前、東寺東門前と南下して、九条大宮からスタート地点の九条営業所へと帰ってきました。運転士さんの乗務について207号系統は２周で１セットが多く、１日の勤務では他の系統も混ざる事もあるそうです。乗車前に和田支部長から見所が満載で、１番好きな系統だとお聞きしていましたが、実際に乗車体験をしてみると、観光こられたお客様やお年寄りが多く、運転には大変苦労されていると思います。今回お世話になった名和運転士さんはマイク放送や運転が丁寧で、約１時間気持ちよく乗車させて頂きました。

乗車体験でお世話になった名和運転士

九条営業所担当系統

202 号 系 統

205 号 系 統

207 号 系 統

208 号 系 統